

## 株式の状況 (平成22年9月30日現在)

発行可能株式総数 ..... 320,000,000 株  
発行済株式の総数 ..... 68,019,379 株  
株主数 ..... 13,410 名

### 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
	千株	%
みずほ信託銀行退職給付信託東京精密口再信託受託者資産管理サービス信託銀行	4,592	6.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,228	3.27
第一生命保険株式会社	2,100	3.08
株式会社森精機製作所	2,000	2.94
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,566	2.30
株式会社三井住友銀行	1,516	2.22
株式会社北越銀行	1,484	2.18
ツガミ取引先持株会	1,230	1.80
エスアイエックス エスアイエス エルティエディー	1,000	1.47
株式会社第四銀行	700	1.02

- (注) 1. 株数は単位未満を切り捨て、出資比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。  
2. みずほ信託銀行退職給付信託東京精密口再信託受託者資産管理サービス信託の持株数 4,592 千株は、(株)東京精密が同行に委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は(株)東京精密が留保しております。  
3. 当社は自己株式を 1,550 千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

## 会社の概要 (平成22年9月30日現在)

商号 株式会社ツガミ

設立 昭和12年3月

本店所在地 東京都中央区日本橋堀留町1丁目9番10号

資本金 10,599 百万円

従業員数 524 名

役員状況 (平成22年10月1日現在)

取締役社長執行役員 西嶋 尚生

取締役経営顧問 菊池 克治

取締役専務執行役員 新嶋 敏治

取締役常務執行役員 本間 利雄

〃 唐 東 雷

社外取締役 中川 威雄

〃 鱒見 満裕

常勤監査役 大宮 郁士

社外監査役 太田 邦正

〃 宮田 芳文

〃 玉井 宏明

本社・工場 本社 東京都中央区日本橋堀留町1丁目9番10号

長岡工場 新潟県長岡市東蔵王1丁目1番1号

信州工場 長野県佐久市中込3600番地

高見工場 新潟県長岡市東高見2丁目1番2

新潟工場 新潟県新潟市東区桃山町2丁目132番地

営業拠点 東日本営業部 (東京)

長岡営業部 (長岡)

諏訪営業部 (諏訪)

中部営業部 (名古屋)

西日本営業部 (大阪)

ツガミグループ 株式会社ツガミマシナリー

株式会社ツガミ総合サービス

株式会社ツガミプレジジョン

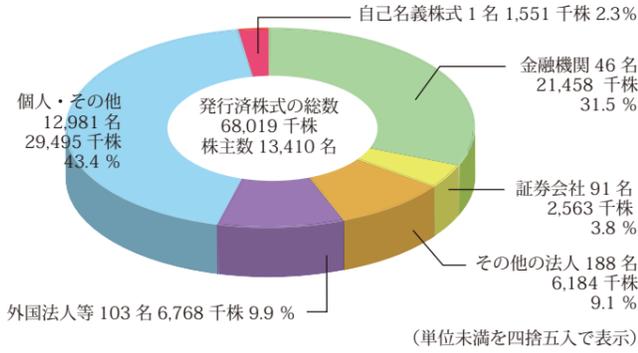
津上精密机床 (浙江) 有限公司 [中国]

TSUGAMI (THAI) CO., LTD. [タイ]

TSUGAMI GmbH [ドイツ]

TSUGAMI KOREA Co.,Ltd [韓国]

## 所有者別株式分布状況



(単位未満を四捨五入で表示)

## 株式メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準	期末配当の基準日は、毎年3月31日 なお、中間配当を実施するときの中間配当の基準日は、毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	郵便番号 137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)
公告の方法	電子公告により、当社ホームページ( <a href="http://www.tsugami.co.jp/">http://www.tsugami.co.jp/</a> )に掲載いたします。 なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、官報に掲載して行います。
上場金融商品取引所	東京証券取引所

## お知らせ

- 株主さまのご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取請求、配当金振込指定などを行う場合の受付窓口は、原則として口座を開設されている証券会社等になります。郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金に関するご照会および株式事務に関する一般的なお問合せは、三菱UFJ信託銀行株式会社で承ります。
- 証券会社等の口座ではなく特別口座に記録された株式に関する各種手続きは、三菱UFJ信託銀行株式会社で受付いたします。
- 特別口座に記録された株式を市場で売却する場合は、特別口座から直接売却することができませんので、証券会社等の口座に振替える必要がございます。

# 株主の皆様へ

第108期中間報告書 平成22年4月1日～平成22年9月30日



## ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととご拝察申し上げます。

さて、当社第108期第2四半期累計期間の営業の概要につきましてご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、中国等アジア新興国向け輸出に支えられ緩やかな回復基調でございましたが、最近の急激な円高から景気停滞への懸念が高まってきております。工作機械業界におきましても、中国等アジア新興国主体に市況は順調に回復してきておりますが、国内および欧州・米国向け市況は、急激な円高により先行き不透明感が強まりつつあります。

このような状況の下、当社グループは中国生産の強化を図るとともに、更に高度化するIT関連ニーズおよび中国等新興国のニーズに応えるべく精密工作機械を積極的に市場に提供してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比331.9%の20,266百万円、営業利益は2,495百万円(前年同期は△787百万円)、経常利益は2,342百万円(前年同期は△1,010百万円)、四半期純利益は2,039百万円(前年同期は△1,094百万円)となりました。

中間配当につきましては、上記の通りの業績を収めることができましたので、1株につき5円の配当とさせていただきます。なお期末配当につきましても5円(年間10円)を予定しております。

当社といたしましては、株主のみなさまへの利益還元を経営上の最重要課題の一つとして考え、安定配当と自己株式の取得を柱に連結業績の向上に応じた利益還元を実施してまいります。

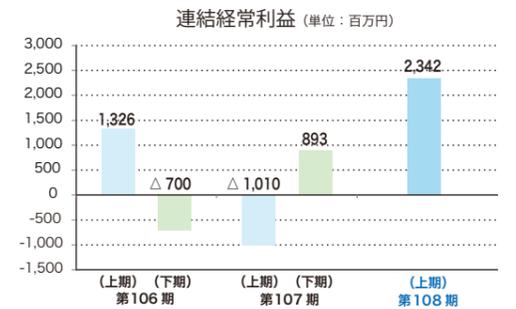
また、引き続きお客様のニーズに合致した新製品の提供とサービスの充実に努め、常に顧客満足度の向上を目指し、お客様に信頼され必要とされる製品を提供できる経営に全力で取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年11月

取締役 社長執行役員 西嶋 尚生

## 連結業績の推移



## 営業成績および財産の状況の推移

区分	第106期		第107期		第108期
	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)	通期	第2四半期(累計)
売上高(百万円)	15,289	22,687	4,692	15,598	20,266
経常利益(百万円)	1,326	626	△1,010	△117	2,342
当期(四半期)純利益(百万円)	△187	△873	△1,094	△244	2,039
1株当たり当期(四半期)利益(円)	△2.76	△12.88	△16.31	△3.65	30.58
総資産(百万円)	31,553	25,703	23,398	31,147	37,763
純資産(百万円)	21,492	19,718	18,669	19,882	21,125
1株当たり純資産(円)	312.50	289.07	275.93	294.29	314.21

(注) 単位未満を切り捨てて表示しております。

## 連結財務諸表

### ◆連結貸借対照表

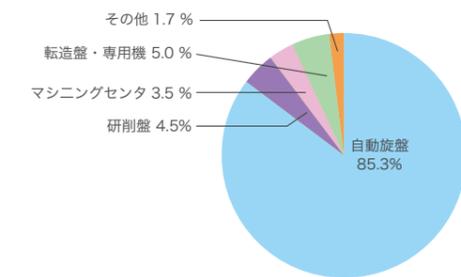
科目	(単位：百万円)	
	当第2四半期 (平成22年9月30日)	前期 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産	27,512	20,191
現金及び預金	5,599	3,892
受取手形及び売掛金	9,789	7,541
棚卸資産	10,988	8,202
その他	1,134	552
固定資産	10,228	10,930
有形固定資産	6,087	6,208
建物・機械装置・運搬具等	5,223	5,420
土地	591	591
その他	272	195
無形固定資産	137	53
投資その他の資産	4,004	4,667
繰延資産	21	25
資産合計	37,763	31,147
負債の部		
流動負債	14,972	9,296
支払手形及び買掛金	13,390	6,946
短期借入金	-	1,008
1年内償還予定の社債	300	300
未払法人税等	236	67
その他	1,045	972
固定負債	1,665	1,968
社債	750	900
その他	915	1,067
負債合計	16,637	11,264
純資産の部		
株主資本	20,821	19,334
資本金	10,599	10,599
資本剰余金	4,154	4,151
利益剰余金	6,496	4,791
自己株式	△ 429	△ 207
評価・換算差額等	63	343
その他有価証券評価差額金	169	463
繰延ヘッジ損益	31	△ 99
為替換算調整勘定	△ 137	△ 20
新株予約権	240	204
純資産合計	21,125	19,882
負債純資産合計	37,763	31,147

### ◆連結損益計算書

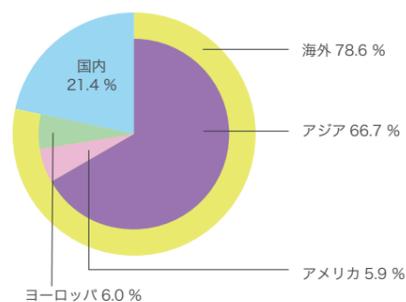
科目	(単位：百万円)	
	当第2四半期 (平成22年9月30日)	前第2四半期 (平成21年9月30日)
売上高	20,266	4,692
売上原価	15,916	3,951
売上総利益	4,349	740
販売費及び一般管理費	1,853	1,527
営業利益又は営業損失(△)	2,495	△ 787
営業外収益	91	211
営業外費用	244	435
経常利益又は経常損失(△)	2,342	△ 1,010
特別利益	5	-
特別損失	158	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,189	△ 1,012
法人税・住民税及び事業税	227	19
過年度法人税等	-	17
法人税等調整額	△ 77	45
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,039	△ 1,094

### ◆売上高構成比(連結)

事業の機種別売上高構成比(当第2四半期)



地域別売上高構成比(当第2四半期)

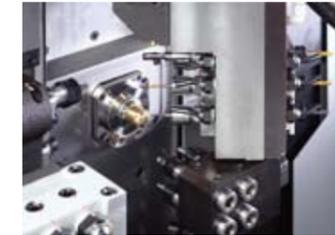


## 新製品を市場に投入

### ◆CNC 精密自動旋盤 SS207

主軸移動型自動旋盤の新機種として「CNC 精密自動旋盤 SS207」を発表しました。B 軸連続刃物台を搭載し、主軸移動型自動旋盤で究極の複合加工を実現しました。

- B 軸制御回転工具により、プログラムで任意の角度を自在に加工。
- CAD/CAM による同時 4 軸加工が可能。
- Y 軸付背面刃物台により、背面側と主軸側複合加工の完全オーバーラップ加工が可能。
- 自動プロを標準付属。



### ◆CNC 高精度自動旋盤 CH154

くし刃型自動旋盤の新機種として「CNC 高精度自動旋盤 CH154」を発表しました。高精度部品をバー材を使用して仕上げまで、完成品になる加工を行います。

- バー材からブランク加工と仕上げ加工まで、1 台のマシンで完結。
- 2 スピンドル、2 刃物台によるオーバーラップ加工で、サイクルタイムを大幅に短縮します。
- 15,000min<sup>-1</sup> 主軸により高生産が可能です。



## 展示会に出展

取引先の開拓を積極的に進めてまいりました。

- 2010 年 4 月 13 日から 6 日間、韓国で SIMTOS 2010 に出展いたしました。
- 2010 年 7 月 8 日から 2 日間、ツガミ長岡工場にてツガミテクニカルフェア 2010 を開催いたしました。
- 2010 年 9 月 13 日から 6 日間、アメリカで IMTS2010 に出展いたしました。

国内外より大勢のユーザー、ディーラー様に来場いただき、活発な商談を行いました。

